

J+ JOURNAL

KOBE MACHINERY & METAL FIRMS ASSOCIATION

創立60周年記念号

31

vol.

2019 WINTER



お祝いメッセージ

..... P6-8

60周年記念企画 歴代副会長に聞く

..... P9-12

こうなる!今年(平成31年度)の 中小企業施策・税制

..... P13

(兵庫県立工業技術センター紹介) 高延性材料試験機のご紹介

..... P16

第2走者 コラム de リレー

..... P18

第10回 能のすすめ

10年間の歩み・ 歴代役員紹介

The cover features the text "60th Anniversary" in large yellow letters, the year "1959-2019" in a stylized font, and the KMF logo. It also includes a small illustration of the Port of Kobe and Mount Rokko.

昭和33年、設備近代化と技術向上などの情報交換を行っていた有志が、神戸市の指導のもと「神戸市機械工業会」世話人会を新設してから今期で60年。これまで、オイルショックやバブル崩壊、阪神・淡路大震災、リーマンショックなど、幾度の困難から立ち上がり、いま、グローバル経済、人手不足など様々な課題に向き合っている皆さんに少しでも寄り添いたい、そんな想いで活動している工業会の10年間の歩みをジャーナル記念号に残しました。

2019南京町春節祭



旧暦で節句を祝う中国では、旧暦のお正月を「春節」として盛大に祝います。南京町でも旧暦の正月に合わせ、1987年から「春節祭」として開催しています。祝い事にはかかせない龍や獅子が舞い踊ったり、祭壇参拝や豪華賞品が当たるボンボン投げなど、おおいに盛ります。1997年には、神戸市の地域無形民俗文化財に指定されました。<http://www.nankinmachi.or.jp>

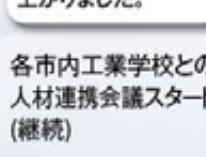
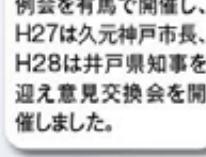
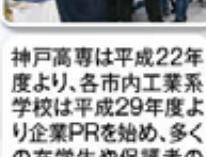
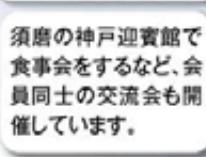
日程 2019年2月5日、9~11日(プレイベント3日)

主催 南京町春節祭実行委員会 TEL 078-332-2896

神戸市機械金属工業会 10年の歴史

元号	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
変遷	リーマンショック後にも関わらず、景況調査の結果では大きな変化は少ない。無事に創立50周年式典を開催し、周年旅行やセミナーなど華やかな年で締めくくる。	景況感が一気に悪くなり、受注対策や政府の景気対策などに関する声が多く聞こえてくる。FAXによる月間情報発信をスタートし、平成23年よりメルマガへと少しずつ移行した。	企業見学会が活発な時期で、市内外の先進企業見学会へ多くの会員が参加した。またロボット開発委員会では共同制作によるロボット開発や意見交換が活発に動いた。	東日本大震災の影響により電力供給の制約や原油価格の高騰が続く。子供たちの未来を育てる事業「神戸こどもロボット体験教室」や市内工業系高校の優秀な卒業生への表彰を始めた。	海外進出への機運が高まり、経営振興部会ではアジア進出企業向けのパネルディスカッションやグループワークを開催し、多くの会員企業が参加した。
会員数	304社	296社	291社	289社	286社
テーマ	活力あるものづくりを支える為に共に協力し合える情報を提供し、関係団体と連携して活性化を図る。	次の時代を見据え、共に協力し合える情報の発信	時代の変化に対応して、活力あるものづくりを目指そう	新しい力の創造	地の利を活かそう～足もとにあるスパコン「京」などの先端科学技術を活かしたものづくりへの取組み～
主な事業	<p>創立50周年記念式典</p>  <p>創立50周年記念式典を開催し、市長から感謝状も頂きました。</p> <p>50周年記念旅行 神戸空港・仙台空港を利用した2泊3日旅行</p> <p>【セミナー】 作家 玉岡 かおる氏 みなと神戸のつわ者たち ～お家さんのこころに学ぶ～</p>	<p>医療研発足10周年記念交流会</p>  <p>医療研発足10年を向かえ盛大な交流会となりました。</p> <p>工業会ニュースの発行(H29～メルマガ発行へ切替)</p> <p>神戸市立工業系学校卒業生への表彰を始める(継続)</p> <p>【セミナー】 甲南大学経営学部教授 安積 敏政 氏 激動するアジア経営戦略 ～中国・インド・ASEANから中東・アフリカまで～</p>	<p>ジャーナル年2回発行へ変更(継続)</p> <p>テクノオーション2010出展</p> <p>【セミナー】 兵庫県立工業技術センター所長 北村 新三 氏 がんばれものづくり!</p> <p>こども達へものづくりの楽しさを伝える為に、ロボット体験教室を神戸市と共に開催スタート。現在はレスキューコンテストの中で、高専の学生と一緒にロボット教室を開催し、こどもへの教育参加を続けています。</p>	<p>一般社団法人へ移行手続き</p> <p>神戸こどもロボットものづくり体験教室共催スタート(継続)</p>   <p>【セミナー】 FMわいわい バーソナリティー 和田 幹司 氏 グレーター真野のちから ～東尻池周辺の近代産業史～</p>	<p>ロボット開発委員会からロボット開発研究会へ(継続)</p> <p>ユーロコブタージャパン 神戸空港事業所見学</p> <p>デマンドコントロールと節電セミナー</p> <p>【セミナー】 甲南大学経営学部教授 安積 敏政 氏 アジア進出支援 セミナー ～海外事情を知る～</p>  <p>トップセミナーではアジアへの進出についてのパネルディスカッションを開催し、多くの企業様が集まりました。</p>
日本・神戸の主な出来事	0系新幹線、最後の定期運転終了 小林誠氏・益川敏英氏・下村脩氏がノーベル物理学賞、化学賞を受賞		次世代スーパーコンピュータ「京」運用開始 「はやぶさ」が小惑星イトカワより帰還	第1回神戸マラソン開催 スーパーコンピュータ「京」が世界ランキング首位奪還 東日本大震災発生	三菱重工業神戸造船所の商船建造撤退 東京スカイツリー完成
世界の主な出来事	北京オリンピック開催 平成19年よりリーマンショック	アメリカ大統領に黒人として初めて、オバマ氏が就任	チリで落盤事故	米アップル社のスティーブ・ジョブズ前CEOが死去	ロンドンオリンピック開催

あゆみ -平成20年度～平成30年度-

平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
航空機産業への参入を目指す動きから、航空機産業セミナーを開催したところ、各セミナー共に予想以上の会員企業が参加。1年後に航空機クラスター研究会が発足する。	リーマンショックから立ち上がり、人材教育やパート従業員の正社員化に取組む企業が増えた。工業会による従業員研修が本格的に始まり、アンケート調査では5Sや品質管理のニーズが多い。	水素クラスター勉強会が発足し、活発なセミナーや視察活動が始まる。医療研では展示会への出展や、オープンラボの開催、臨床工学士との連携などが活発化。	ホームページをリニューアルし、会員企業をはじめ对外的に情報発信を強化。またこの頃には人材不足が深刻化し、連携事業部会では市内工業系学校との連携会議をスタートさせる。	金属加工のマシニング化に伴い汎用旋盤研修の声が高まり、従業員の実技研修をスタート。また工業系学校との連携により、各学校の文化祭などで会員企業展示を行い学生・保護者・先生方へPRを始める。	西日本豪雨や大阪北部地震、台風による被害など、多くの自然災害が重なり、従業員の早期帰宅対応や交通網の途絶対応に苦慮する企業が多くみられる。また、企業の後継者不足に伴い事業承継にも注目が集まる。
278社	270社	274社	270社	264社	268社
保有技術を新規分野へ展開しよう	もっと役に立つ工業会		強いオンリーワン企業を目指す		女性活躍と工業会の活性化
従業員向け研修会スタート(継続)  	6月 航空機産業クラスター研究会発足(継続) 	8月 水素クラスター勉強会発足(継続) 青研会50周年式典 	ホームページリニューアル きらりの会宿泊例会 兵庫県知事 井戸 敏三 氏 同年解散 	従業員向け実技研修スタート(継続) 市内工業系学校の企業展示スタート(継続) 県立兵庫工業高校インターンシップ受入(継続) 	公益目的支出計画の実施完了 医療研 医療情報部会発足(継続) 3団体バス旅行からグルメ探訪会へリニューアル 
従業員向けの研修会(座学)をスタートし、H29からは実技研修も加わり毎年多くの企業様が参加しています。	航空機産業クラスター研究会を発足し、会議や先進企業の見学など活発な事業をしています。 	青年経営研究会は50周年を迎え、式典と大都市交流大会を開催し、大いに盛り上りました。 	各市内工業学校との人材連携会議スタート(継続) 	きらりの会は年に1度例会を有馬で開催し、H27は久元神戸市長、H28は井戸県知事を迎え意見交換会を開催しました。 	須磨の神戸迎賓館で食事会をするなど、会員同士の交流会も開催しています。 
航空機産業セミナー開催 【セミナー】独立総合研究所代表取締役社長青山繁晴氏 日本の出番、祖国は甦る	海洋産業勉強会を発足し、「ちきゅう」の見学など海洋産業の先端技術に触れました。 【セミナー】同志社大学学長 村田晃嗣氏 グローバル化時代の教育と外交	【セミナー】神戸新聞社代表取締役社長高士薰氏 逆風のときにこそ～社業再定義への夢～	【セミナー】神戸製鋼所相談役 佐藤廣士氏 身近なところにあるイノベーション～元気で明るい社会をめざして～	【セミナー】神戸商工会議所会頭 家次恒氏 潮流が変わるとチャンスが生まれる～システムズの誕生と成長の軌跡～	【セミナー】神戸大学名誉教授新野幸次郎氏 明日を創る中小企業～日本の中小企業の課題～
富士山が世界文化遺産登録 2020年夏季五輪開催地が東京に決定	外国客船「クイーン・エリザベス」が初入港 消費税8%に増税	マイナンバー制度制定 姫路城 大修理完了	熊本地震発生 選挙権18歳以上に改正	神戸開港150年 羽生善治棋聖が史上初永世7冠	藤井聰太棋士、史上最年少、史上最速で七段に 西日本豪雨、大阪北部地震、台風による高潮被害など自然災害が頻発
	ソチ冬季オリンピックで羽生結弦選手が日本初金メダル獲得		リオデジャネイロオリンピック開催	アメリカ大統領にトランプ氏就任	

神戸市機械金属工業会 歴代役

部会名	役職名	平成20-21年度	平成22-23年度
正・副会長	会長	村元 四郎	村元 四郎
	副会長	大野 和夫(総務・経営) 本岡 幸雄(会員・文化) 谷口 義博(技術・福祉)	本岡 幸雄(会員・文化) 谷口 義博(総務・福祉) 藤澤 信幸(技術) 大島 孝一郎(経営)
	会長代行		
総務部会	部会長	藤澤 信幸	阿知波 規之
	副部会長	山本 康夫	山本 康夫
経営振興部会	部会長	大島 孝一郎	太田 雅矩
	副部会長	山内 智博	山内 智博
ISO取得推進小委員会	委員長	石田 安正	石田 安正
	委員長	岡西 栄作	
産学官連携小委員会	副委員長	太田 稔宏	
会員広報部会	部会長	外川 弘幸	外川 弘幸
	副部会長	前田 正	尾尻 法行
ジャーナル編集小委員会	委員長	光永 健作	
	委員長	桑畠 純也	
文化交流部会	部会長	阿知波 規之	並田 桂昌
	副部会長	並田 桂昌	吉川 孝一
技術交流部会	部会長	三津 清	岡西 栄作
	副部会長	宮脇 隆一郎	太田 稔宏
水素クラスター勉強会 ロボット開発委員会	会長		
	委員長	下土井 康晴	下土井 康晴
ロボット開発研究会	会長		
	副会長		
きらりの会	会長	太田 雅矩	藤浪 芳子
	部会長		
連携事業部会	副部会長		(H22~23 産学官連携小委員会委員長)
青年経営研究会		尾尻 法行(H20) 清水 順一郎(H21)	車 健一郎(H22) 福井 一仁(H23)
福祉事業部会	部会長	桑畠 純也	桑畠 純也
	副部会長	岸本 廣康	船曳 博雄
安全安心推進小委員会	委員長	岸本 廣康	船曳 博雄
医療用機器開発研究会	部会長	鶴井 孝文	鶴井 孝文
	副部会長	太田 雅矩	岡西 栄作 桑畠 純也
医療用機器委員会 介護・福祉機器委員会	委員長	清水 泰人	
	委員長	片岡 孝次	
会計監事			下土井 康晴 清水 泰人
航空機産業クラスター研究会	部会長		
	副部会長		
	監事		

(注)文化交流部会は平成30年度より会員広報部会に統合し、「会員交流・広報部会」に改称した。

員紹介 一平成20年度～平成30年度一

平成24-25年度	平成26-27年度	平成28-29年度	平成30年度
村元 四郎 本岡 幸雄(会員広報・文化) 谷口 義博(連携事業・ロボット) 藤澤 信幸(技術交流・医療研) 大島 孝一郎(経営振興・ISO推進)	谷口 義博 大島 孝一郎(経営・連携) 並田 桂昌(文化・ロボ・航空H27～) 阿知波 規之(技術・会員) 本岡 幸雄 藤澤 信幸	藤浪 芳子 大島 孝一郎(経営・連携) 阿知波 規之(総務・医療研・青研会) 外川 弘幸(会員広報・技術・文化) 横道 純次(ロボット・航空機)	藤浪 芳子 阿知波 規之(総務・医療研・青研会) 外川 弘幸(会員広報・技術・文化) 横道 純次(ロボット・航空機) 岡西 栄作(経営・連携)
阿知波 規之 橋本 耕太郎 桑畠 純也 船曳 博雄 石田 安正	尾尻 法行 車 健一郎 桑畠 純也(H27～ 副部会長) 船曳 博雄(H27～ 部会長)	尾尻 法行 車 健一郎 船曳 博雄 桑畠 純也	車 健一郎 尾尻 法行 船曳 博雄 桑畠 純也
外川 弘幸 尾尻 法行	吉川 孝一 橋本 直	吉川 孝一 橋本 直	会員交流・ 広報部会 吉川 孝一 橋本 直
並田 桂昌 吉川 孝一 岡西 栄作 和田 貴志	清水 順一郎 高山 貴 太田 稔宏 和田 貴志 浪本 進一郎(H27.8月)	清水 順一郎 太田 稔宏 和田 貴志 浪本 進一郎	太田 稔宏 和田 貴志 浪本 進一郎
村田 博明 横道 純次 藤浪 芳子 太田 稔宏 米崎 良	村田 博明 横道 純次 藤浪 芳子 岡西 栄作 米崎 良	村田 博明 太田 稔宏 和田 貴志 岡西 栄作 米崎 良	村田 博明 太田 稔宏 和田 貴志 浪本 進一郎 清水 順一郎 梅原 利久 米崎 良
山本 大(H24) 内原 新人(H25)	木村 康幸(H26) 橋本 直(H27)	金澤 良樹(H28) 米崎 良(H29)	平本 久嗣(H30)
鶴井 孝文 岡西 栄作 桑畠 純也	桑畠 純也 岡西 栄作 和田 貴志	桑畠 純也 岡西 栄作 和田 貴志	桑畠 純也 和田 貴志 本郷 伸一
下土井 康晴 清水 泰人	清水 泰人 藤浪 芳子	清水 泰人 藤浪 芳子(~H28) 藤澤 信幸(H29～)	清水 泰人 藤澤 信幸
	大長 勝 阿倉 和哉 村田 博明 岡西 栄作	大長 勝 阿倉 和哉 三木 喬裕 岡西 栄作	大長 勝 阿倉 和哉 酒井 誠 岡西 栄作

神戸市機械金属工業会創立60周年

「名誉会長」

神戸市長

久元 喜造



60周年をお祝いして

新年明けましておめでとうございます。

今期、神戸市機械金属工業会は創立から60周年を迎られました。貴会が創立された昭和33年は日本が高度経済成長へと歩み始めた頃で、この間、会員企業の皆様方は、いくつもの山や谷を乗り越え、今日を築いてこられました。ものづくりの技術を確実に次代に継承されるとともに、近年では、産学連携や成長分野の研究にも積極的に取り組まれる等、常に将来を見据えて活動を続けておられます。こうした皆様方の長年にわたるご努力に、深く敬意を表するところです。

さて、平成31年(2019年)は我が国にとって大変重要な年となります。4月30日の天皇陛下御退位に伴い「平成」が幕を閉じ、5月1日に皇太子殿下が即位され、新たな元号に改められます。折りも、神戸にとっては、明治22年(1889年)の市制施行により神戸市が誕生してから130周年という節目の年でもあります。

まさに新たな年の幕開けにあたり、神戸は、これまで先人が築き上げてきた歴史や當みを受け継ぎながら、輝かしい未来に向かって着実に歩みを進めていかなければなりません。本格的な人口減少時代を迎える神戸が将来にわたって活力を維持していくためには、都市の魅力を磨き、選ばれるまちとしての価値を高めていくことが重要です。

そのため、神戸の強みである「居住都市」としての質をさらに向上させるとともに、神戸医療産業都市の推進など神戸経済の活性化を図ります。また、神戸港や六甲山系など美しい景観を崩すことがないよう調和のとれたまちづくりを進めるほか、空家・空地の解消など地域再生への取り組みも行ってまいります。

さらに、子育て世代への切れ目のない支援や子どもたちの教育環境の充実、認知症対策「神戸モデル」をはじめとした高齢者支援の充実を図るとともに、若い世代を中心とした起業創業の創出など、特色ある取り組みを引き続き進めてまいります。

今後も、様々な分野の施策にバランスよく取り組み、まちの総合力を高め、誰もが心地よく健やかに住み、学び、働き続けられる魅力あふれるまちづくりに力を尽くしてまいりますので、神戸市政に対し、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ではございますが、神戸市機械金属工業会並びに会員企業の皆様方にとって、この記念すべき年が、更なる飛躍の年となることをお祈りいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

「名誉顧問」

兵庫県知事

井戸 敏三



兵庫の新たな歴史を築く

新年あけましておめでとうございます。

神戸市機械金属工業会が創立60周年を迎えたことを心からお祝いします。

創立以来、皆様は、会員の切磋琢磨と團結により、技術の向上、経営力強化を図り、兵庫経済を牽引してこられました。阪神・淡路大震災の際には、会員の95%が被災するなか、懸命の努力により半年で震災前の生産額を回復させ、兵庫・神戸の復旧復興を力強く支えていただきました。皆様のご尽力に改めて感謝します。

近年は、航空機、ロボット、医療、水素エネルギーなど、次世代産業に積極的に挑まれています。なかでも、IoTを活用した「つながる工場」は、労働人口が減少するなかでも生産性の向上を図る大変注目すべき取り組みであり、今後の飛躍に大いに期待しています。

今年は5月から新元号の新たな時代が幕を開けます。そして、9月のラグビーワールドカップを皮切りにワールドマスターズゲームズ2021関西へと続くゴールデン・スポーツイヤースが始まります。2025年大阪万博の開催も決定しました。今後、日本、関西、兵庫に世界の関心が集まるでしょう。

兵庫は、神戸港開港以来、海外の文化や産業を取り入れ日本を先導してきました。それだけに、この機を捉え、世界の成長を取り込み、人口減少が進む中でも、活力に満ちた地域としなければなりません。

五国の多様性を活かし、「兵庫2030年の展望」が描く自分らしい生活や働き方ができる「すこやか兵庫」の実現をめざして、新時代の兵庫を創ります。その第一の柱は、安全安心で豊かな暮らしの実現。第二は、未来へ続く地域活力の創出。第三は、国内外との交流・環流の拡大です。

いつの時代も、夢や希望を持ち、果敢に挑む人々が兵庫の明日を切り拓いてきました。神戸市機械金属工業会の皆様には、豊富な経験とネットワークを礎に、常に挑戦する気概をもって、これからも兵庫のものづくりを牽引していただくことを期待します。ともに力を合わせ、兵庫の新たな歴史を築いていきましょう。

神戸市機械金属工業会のますますのご発展と、皆様のご健勝でのご活躍を心からお祈ります。

兵庫県 150年 新スタート 五国を活かし すこやかめざす

迎えて お祝いメッセージ

「名誉顧問」
神戸商工会議所会頭
家次 恒



新時代の幕開けに向けて

明けましておめでとうございます。

また、一般社団法人神戸市機械金属工業会が創立60周年を迎られましたことを心からお祝い申し上げます。

1958年に志ある有志によって発足されて以来、神戸の中小機械金属メーカーの団体として、メンバー間の交流・研鑽のみならず、航空機や水素など新産業への積極果敢な取り組みを通じ、地域製造業の発展に貢献されてこられたことに対し、深甚なる敬意を表します。

現下の経済情勢については、世界経済の拡大を背景に緩やかな改革基調が続いているものの、その実感には乏しく、また、保護主義的な政策の強まり、中国経済の減速懸念、地政学的リスクなど、今後の動向にも注視が必要です。

このような中、我が国では、人口減少・高齢化社会やデジタル革命時代を迎え、中小企業においても、人手不足の深刻化やコスト上昇、事業承継問題など、様々な経営環境の変化に直面しています。

地元神戸に目を向けてみると、関西3空港一体運営、大阪湾岸道路西仲部の着工など、都心・三宮の再整備も含め、将来的な交通結節機能の強化に向けたプロジェクトが動き出しました。また、神戸医療産業都市は構想開始から20年を迎え、国内屈指のクラスターへと成長しました。

さらに、大阪はじめ関西経済界を挙げて誇りに取り組んできた2025年国際博覧会(万博)の開催が決定しました。「いのち輝く未来社会のデザイン」のテーマに沿って、神戸医療産業都市における取り組み成果の進展はもとより、その注目度や集客力を活かした神戸らしい貢献ができるものと存じます。

そのような中、神戸商工会議所では、時流の変化を見据えた事業や政策提言活動をさらに積極的に展開して参ります。また、商工会議所の最大の使命である中小企業支援においては、AIやIoTといった先端技術の導入や事業承継への支援、ヘルスケア、スポーツ産業をはじめとするビジネス創出機会の拡大など、環境変化の中で果敢にチャレンジする企業ニーズに沿った支援体制を整えて参ります。

貴会におかれても、いち早く次世代産業に関連した研究会を立ち上げられ、行動されておられることを大変心強く思っております。

この60周年を契機に、さらに結束を強められ、神戸を代表するものづくり集団として、一層活躍されることを大いに期待致します。

「会長」
藤浪 芳子

昭和精機(株)
取締役会長



～新年を迎えて～

新年明けましておめでとうございます。

朝陽に輝く希望と共に、また新たな年が訪れてまいりました。会員の皆様と一緒に寿ぎたいと思います。

世界の潮流が大きく変わっていく中で、日本では30年余にわたった平成の時代が終わり、本年5月、新しい元号に改元されます。元号制定の条件の一つとして、「国家の大理想を表徴するに足るものとなるべきこと」(昭和大礼記録)があり、新元号にこれから日本が理想とする明るい将来を大いに期待するものです。

また我が工業会は、今期設立60周年を迎えました。第二次世界大戦の終戦から10数年経った頃、有志による準備期間を経て昭和33年「神戸市機械工業会」として発足、昭和36年には「神戸市機械金属工業会」に改称、その後「社団法人」から「一般社団法人」へ移行し、現在に至っています。会の運営に当たる際に新しい元号を迎えるご縁を喜び、初心に戻って、新たな可能性に向かって邁進していきましょう。

神戸市のご指導ご支援のもと、中小製造業の振興と発展を期して先人が知恵を絞り汗を流して作られた組織は、幾多の景気の波や自然災害にも耐えてきました。その上近年はものづくりのグローバル化が加速され、解決すべき問題が毎日のように起こっています。また国内だけではなく近隣諸国との棲み分けが進み、企業のあり方はダイナミックに変わらざるを得ない環境に置かれています。

言うまでもなく会員企業は当初、県内の大手製造業の下請け加工業者が主流でした。現在は情報サービス業等のソフト産業やオンラインの技術を持つメーカー等、時代のニーズに沿った業種にまで拡がっています。工業会が積極的に活動を展開している医療や、ロボット、航空機等の研究会活動に積極的に関わっている企業が増えているのも嬉しいことです。また水素や海洋等の新産業に、独自の技術や豊かな経験を持つ老舗企業が果敢に挑戦している様子には、これからの神戸経済を背負って立つ覚悟すら感じられます。

国内では少子化が進み、事業承継も切実な問題です。女性活躍や多様性が叫ばれて久しいですが、老若男女を問わず、国籍を問わず、企業経営に携わる時代が到来しています。しかしながら、どんなに時代背景は変わっても、各社に脈脈と受け継がれてきた独自の技術や豊かな経験に基づく知恵は、年を重ねるごとに強くなり、いかに厳しい状況をも克服すると信じております。

工業会としましても会員の皆様の声を真摯に受け止め、時代の流れにマッチした活動を展開するべく全力を尽くす所存です。

本年も会員企業各社のますますの発展を祈念しております。

「第9代会長」

村元 四郎

神戸市機械金属工業会
顧問

創立60周年に思う

創立60周年を迎える心よりお喜び申し上げます。

2008年5月29日に創立50周年記念式典を開催させて頂き、次の50年に向かって歩みはじめてから早10年を迎え、時代の変化と速さを感じています。

創立50周年記念行事として、神戸空港を利用して仙台へ2泊3日の旅行を実施し多くの方に参加を頂き、他にも記念講演やゴルフ大会、記念誌の発行など50年間の歩みを多くの会員の皆様や諸先輩方とお祝いを共にしました。

工業会の近年10年間の事業としては、一般社団法人への移行、テクノオーシャン2010出展、産学連携委員会の設置、従業員研修の実施、また組織的にはロボット開発研究会・航空機産業クラスター研究会・水素クラスター勉強会の立ち上げなど、時代に即した多くの事業に取組み、会員企業に役立つ会として活動をしており、会員企業により近く、中小企業に寄り添う参加型の事業が増え、新事業の扉を開いていると実感しています。

また、この10年間には想定外の自然災害や人的災害が毎年のように起こり、企業のBCPを大きく見直さざるを得なくなりました。企業の対応力は従業員の安全だけでなく、社会的な信用力にも関わってきます。工業会では阪神・淡路大震災の経験を踏まえ平成17年から災害義援金の募金を続けており、会員皆様のお気持を各地へ届ける活動をしています。

次の10年は我々を取り巻く環境が大きく変わることが予想されます。グローバル化に始まる経済環境の変化、技術革新によるAI・IoT・ロボット等での作業環境の変化、労働法改正による働き方の変化、また地球規模の環境基準への対応等、過去に経験をしたことのないスピードで変化する10年でしょう。ただ、時代の変化に即した企業経営はもちろんのこと、世界に誇れる日本の優れた技術や丁寧な仕事なくしては「日本のものづくり」が崩れてしまいます。

この様に大きな変化が予測されるときに、神戸市機械金属工業会は力強く歩み、会員企業の探究心や新しい産業参入の発掘、事業継承・技術継承、生産性向上と働き方改革への柔軟な取組みなど、時代の変化をいち早く捉え会員企業に役立つ情報を発信し、共に時代の荒波を乗り切って行ってください。

最後に神戸市機械金属工業会と会員企業の皆様の益々の繁栄を祈念しております。



「第10代会長」

谷口 義博

(株)千代田精機
代表取締役社長

創立からの60年

創立60周年、誠におめでとうございます。

私は昭和32年生まれですので、その翌年に創立されたことになります。第二次世界大戦が終わって混沌とした中からの復興も成し立て、日本は高度成長の時代へと突入する助走の時、まさに全国民がアメリカを夢見て、昼・夜問わず必死に働いていた頃に創立されました。それから60年、この機械金属工業会が神戸市、そして兵庫県の発展に果たした役割はさぞや大きかったと思います。

ところで、これまでの当工業会のあゆみを振り返りますと、昭和36年3月に会報誌1号の発行を始め、現在はジャーナル紙へ模様替えをし、情報提供はホームページやメールでの発信へ変わっていきます。また同年、優秀従業員表彰を始めた案内文には「中小企業問題は、資金の問題よりは本質的には人の問題である」とも言われています。従業員の問題もこの意味において極めて重要であり、優秀な従業員は企業の宝であるといえる。』と書かれており、創立当時から従業員大事にしていた会の想いを感じます。昭和37年には神戸で初めてとなる機械金属関係の展示会「第1回プロダクティビティ・ショウ(生産性向上機械工具展)」を神戸王子体育館で開催、当時の関係者の興奮が伝わるようです。

この様に数々の歴史を歩んできた機械金属工業会の中で平成10年に青研会の第33代会長職、そして平成26年に親会の第10代会長職を拝命致しました。お役に立てたかどうかは定かではありませんが「もっと役に立つ工業会」をテーマに掲げ、会員企業の皆様とその従業員の皆様が幸せになる方法を模索させて頂きました。またその間、航空機クラスター研究会、海洋産業勉強会、水素クラスター勉強会を立ち上げるなど、会長として多忙ではありましたけれど、沢山の貴重な経験と沢山の勉強をさせて頂きました。この様な機会を頂いた事に本当に感謝しております。

工業会の創立以降、日本経済は幾度となく大きな変動を繰り返してきました。そのような状況の下、乗り越えるべき課題も次々と変化していく中で、中小企業が置かれる状況もより厳しさを増してきています。昨今の日本経済も、経済のグローバル化や超少子高齢社会の到来などにより、残念ながら低迷を余儀なくされており、我が工業会の会員数もわずかずつ減少しておりますが、これからも当機械金属工業会が神戸市、兵庫県、そして日本の工業会に一石を投じる存在であり続けることを祈念いたしております。



平成2年度～8年度まで副会長(7年間)

明興産業（株）
会長 下土井 康晴



「危機を乗り越えさらなる飛躍を目指して」 一丸となって阪神淡路大震災からの復興へ

平成2年度から7年間、副会長を務めた明興産業㈱・下土井康晴会長。工業会が設立間もない頃に入会された先駆者一人です。現副会長の大協磨鋼材㈱・外川弘幸代表取締役がお話をうかがいました。



大震災から半年後に生産額を回復

外川●下土井さんが副会長を務めておられたなかで、阪神・淡路大震災を経験されておられます。大変だったかと思いますが、工業会としての状況、ご苦労などをお聞かせください。

下土井●工業会創立35周年を祝った2年後に起こったんです。残念ながら亡くなられた方が8名おられ、会員企業数407社のうち、全壊・半壊72社、半壊以下の損壊321社と会員企業の95%が被災しました。ライフル線の停止により、数ヶ月間操業を停止せざるを得なかった会員企業も少なくありませんでした。工場や機械設備の補修保障、従業員への生活保障が大問題でのしかかつてきています。その当時会長だった大島金属工業㈱・大島孝さん（平成6～9年）を先頭に、工業会として9項目の要望書を国・県・市に提出したり、個別に復興支援を行いました。

「危機をチャンスに」との大島会長の鼓舞で、工業会の活動を停滞することなく、行政機関と協力しながら、さまざまな取り組みを行ってきました。おかげで半年後の7月には震災前の生産額を回復できました。

外川●一致団結して立ち上がり、進んでいったんですね。

下土井●とにかく、みんな死にものぐるいやったね。

行事で活発な交流を図る

外川●震災関連以外で、任期中の特に印象的な取り組みなどはございますか。震災前は山西アルミニーム㈱・山西寅男会長（平成2～5年）でしたね。

下土井●いわゆるバブルを経て、まだその名残があった時代でしたね。会員企業数が400社を上回る大きな団体でしたから、親睦を図ってお互いに刺激し合おうと、誰もが参加したくなるような行事を企画していましたよ。漸干狩りやしいたけ狩りなどの

春・秋のレクリエーション、瀬戸大橋や海遊館などのオープンに合わせたレクリエーションを多く開催し、野球大会やゴルフ大会もみんなで楽しんでいました。参加者は毎回200名を超えていたんじゃないかな。バスを10台くらい連ねて出かけていましたよ。

外川●今ではちょっと考えられないですね（笑）。やはり橋や施設が次々に建設されて全国的にも華やかなニュースが多く、時代を感じますね。

下土井●当会も育ち盛りの時代やったんやね（笑）。海外へも目を向け、これから目覚しい発展が期待される東南アジアや中国にも行きました。中国には神戸経済貿易訪中使節団（平成4年6月）に参加し、北京・天津・ハルビン・長春・瀋陽・大連を回って、港湾施設や自動車製造ラインなどの見学、開発中の工業用地を訪ねました。僕はこれをきっかけに、中国への進出を本格的に考え、実現しました。

外川●その頃、青年経営研究会で中国事情について講演していただきましたね。雇用のことなど具体的なお話で、とても興味深かったです。

下土井●2、3年は大変だったけれど、その後は20年余り、赤字を出していませんよ。中国の急成長を肌で感じてきました。今の中国はかつての日本のようやね。平成27年にはベトナムにも進出しています。ゆくゆくはカンボジアにも進出したいと考えています。僕みたいなハイタリティある人間はそういうよ（笑）。

外川●そうですね、下土井さんの世代

現役副会長

大協磨鋼材（株）

代表取締役 外川 弘幸

問合手

現役副会長

大協磨鋼材（株）

代表取締役 外川 弘幸

は皆さんたくましいですよね（笑）。

下土井●工業会との関わりは、僕は20代のときに、オリエンタル鍍金㈱の高橋宏彰さんに誘われたのがキッカケで、しばらく一番若手でした。夜間高校を働きながら卒業した私にとって、工業会でいろんな人に出会い、社会勉強になりました。講演会や勉強会もあったので、情報を多く得られたり、幅広く情報交換もできました。副会長当時は日米技術交流セミナーや技術シンポジウムなど活発に開催していましたよ。

今後の工業会に期待すること

外川●ほぼ60年、工業会とともに歩んでこられた下土井さんから、今後の工業会に期待されることは何でしょうか。

下土井●もう60年たったんやね（笑）。僕は工業会の他に、兵庫県経営者協会や神戸経済同友会にも入って活動していましたが、工業会は他の団体と比べても遜色ないよ。自慢していいですよ（笑）。

会員企業の減少や後継者問題など、課題はいろいろあるでしょうが、こういう団体は自然に育っていくものですよ。自然に力がついてくるもんだと思います。みんな、それによくがんばっていますから。僕は老害にならんように気を付けます（笑）。

外川●いえいえ、定年はありませんから、いつでも顔を出してください。



平成10年度～13年度まで副会長(4年間)

宮脇機械プラント（株）
会長 宮脇 隆一郎



地の利の良さを活かし、もっと貪欲に 「神戸」の存在感を発信しよう！

平成10年度から4年間、副会長を務めた宮脇機械プラント㈱・宮脇隆一郎会長。工作機械システム専門商社の視点からさまざまな情報を発信してこられました。現副会長の大栄電機㈱・阿知波規之代表取締役がお話をうかがいました。



技術研究に力を注ぐ

阿知波●宮脇さんは吉川孝郎会長のもとで平成10年から13年度まで副会長を務めておられました。当時、超高速切削加工研究会、医療用機器開発研究会などの活動が活発でしたが、宮脇さんは超高速切削加工研究会に参加されておられましたね。

宮脇●平成10年度はちょうど工業会設立40周年を迎える活性化に向けて、技術研究開発をさらに推し進めていた頃でした。僕はその前の大島孝会長時代の技術交流部会から参加していました。さらにそれ以前には、兵庫県立工業技術センターの傘下にある兵庫県機械技術研究会で活動しており、理事も務めました。多方面の方々と知り合えて勉強になりましたね。

超高速切削加工研究会は平成9年に発足しましたが、あの当時、超高速切削加工が流行っていたんです。主軸の回転数をうんと上げたような機械が東芝機械などメーカー3社ほどから出始めた頃でした。PCD(金属加工などに使われる人工的なダイヤモンド製切削工具素材)がよく言われていた頃で、超高速切削加工機によって時間を短縮しコストを下げる。技術交流部会で取り上げて勉強会を始めたんじゃないかったかな。ミツ精機(株)三津啓祐さんにもご協力いただいたんですね。資金を捻出するのに苦労した記憶があります。結果的にノウハウは得られなくても、こういう技術があって、こういう使い方ができるのだと勉強できました。

特に印象的な取り組み

阿知波●他にも任期中の印象的な取り組みなどはありますか。

宮脇●ISO認証取得の活動も活発になつた時代でしたね。

阿知波●当時はISOを取得しないと業界から取り残されそうな、取得があたりまえとなつた時代でしたね。

宮脇●平成10年前後から勉強会を開いていました。当時は製造業ベースのISOでした。非常に細かかったですけれど、2015年バージョンから少し変わってきたね。いずれにしても、僕は日本人にはISO規格以上の力があると思っていますよ。工業会会員の皆さんには十分その力をお持ちだと思います。

他にも、ちょうどパソコンが出始めて、ワープロからパソコンへと一気に変わっていきましたね。工業会で経営者向けのパソコン勉強会を開いたりして、僕もそこで勉強しましたよ。

また工業高校生インターンシップ実施を試験的にスタートましたが、今も続いているですね。当時、弊社ではとても受け入れられませんでしたが、おかげさまで今では毎年受け入れています。

今後の工業会に期待すること

阿知波●今後の工業会に期待されることについてお話をいただけますか。

宮脇●工業会には多様な立ち位置のメンバーがいらっしゃるので、お互いに連携できるのが強みじゃないでしょうか。弊社は製造業とは違う視点での情報がお役に立てたらと、ご提供してきました。

ただ一つ強く感じているのは、違う見方に対してもっと積極的になっていただ

きたいことです。大手の取引相手の方に向かって見ていない方が少なくないように感じますね。外へもっともっとオープンになって、どんどん新しい情報を取り入れてほしいのですが、案外、クローズなところがあります。

兵庫県は国内でも優秀県です。工業製品の出荷高は国内6、7位で、そのうち神戸地区が40～45%ぐらいを占めています。その中心にあるのが工業会と言えるでしょう。この兵庫県の中心にある有利性をもっと活かして、言葉は抽象的ですが、雄叫びをあげていただきたいですね。ちょっと静かやね(笑)。大阪の人たちは非常にものを言いますよ。もっと貪欲です。神戸は非常に素直に話を聞いていただけ駆け引きがないのでありがたいんですけども、もう少し貪欲であってほしいですね。

阿知波●良く言えば上品なんですが、おとなしすぎるんですね(笑)。

宮脇●「あれは神戸やで」という、存在感を打ち出していくべきですね。他との差別化、神戸ならではのものを考えてほしい。

工業会として何かできないか、目玉を考えていきましょうよ。盛り上がりが必要ですよ。まずは副会長クラスで考えてみてはいかがですか。



平成16年度～21年度まで副会長(6年間)

(株) 大野社

代表取締役会長 大野 和夫



中小企業ファーストの情報を 発信し続けてほしい

平成16年度から6年間、副会長を務めた㈱大野社・大野和夫代表取締役会長。文化交流部会や医療用機器開発研究会などにも積極的に参加して活動されています。現副会長の㈱ジェイテック・横道純次代表取締役がお話をうかがいました。



思い出深い活動

横道●大野さんが副会長を務められた6年間で特に思い出に残っておられることや、出会った方々のお話を聞かせください。

大野●工業会の活動としては副会長時代だけじゃなく、文化交流部会で神戸市のいろいろな施設や企業見学に行ったことが一番の思い出ですね。(株)布引製作所の安藤郁子さんや、日本ライニング工業(株)の直原美那子さんたちが「文化的なつながりが大事」とおっしゃって部会を立ち上げられたんです。建造中の明石海峡大橋(平成10年4月に完成)や神戸空港(平成18年2月に開港)、下水処理場やゴミ焼却場などへも見学に行きました。

神戸複合産業団地(神戸テクノ・ロジティックパーク)のことも思い出深いですね。平成元年頃だったかと思いますが、当時会長の大島金属工業(株)大島孝さんが準備委員会を立ち上げ、市役所で場所を借りて何回か会合を開き、各地の産業団地に見学に行ったりしました。大島さんのお手伝いをする中でいろいろと教えていただきましたね。

その他に医療用機器開発研究会などにも関わらせていただいて、豊富な人脈ができました。会長を務められた(株)村元工作所・村元四郎さんや、(株)ミマタ山本康夫さん、(株)神戸工業試験場・鶴井孝文さん、他にも(株)ユニテン・橋本耕太郎さんも面倒見のいい人で表裏なく率先して動く人でした。私と同世代の人たちが多くて子どもも同じような年代ですね。阪神・淡路大震災のあと工業会では「元気を出そうよ」と神戸花火大会に合わせ納涼会を始め、家族ぐるみで楽しんだものです。困ったときこそ明るく助けてくれる人が多かったです。

横道●工業会では義援金活動も熱心にしていますね。

大野●そうそう、震災後に義援金を募集

したところ、予想以上に集まりました。その後も東北や新潟、熊本の被災地へ義援金を送っています。海外にも送りましたよ。

横道●皆さん、意識が高いんでしょうね。痛みがよくわかりますから。

特に印象的な取り組み

横道●大野さんは平成11年に発足した医療用機器開発研究会に参加されていますね。

大野●神戸大学・神戸バイオメディクス株式会社との共同開発によって、腹腔鏡手術器具「ガットクランバー」を製造しています。大腸がん手術で使うのですが、たまたま神戸大学の先生から何とかできないかと相談されたんです。新しい分野への参入でしたから、薬事法を一から勉強したりしてずいぶん苦労しました。現場の看護師さんたちの具体的な意見がとても役立ちました。今でもコンスタントに商品を製造しています。

横道●その他、特に印象的な取り組みは?

大野●平成20年、神戸市と天津の友好都市提携35周年記念訪問団に、工業会として十数人で参加しました。村元さんの代理で団長を務めたんです。神戸空港から初めての国際便がチャーター便で飛んだんですよ。当時の矢田立郎市長を代表に商業、農業、旅館など6団体合同での参加で天津市長から大歓迎を受けました。

現役副会長

(株) ジェイテック

代表取締役 横道 純次

聞き手

代表取締役 横道 純次

他には、平成19年1月に会報誌を外川さんや前田さん、桑畑さんたち若手が中心となってリニューアルしましたね。

今後の工業会に期待すること

横道●今後の工業会に期待されることは?

大野●弊社もそうですが、今、人の問題がむずかしくなってきていますよね。少子化が進んでいる上に進学する人が増えて高校生もなかなかいない。今は中途採用で優秀な人に期待していますが、そういう状況を踏まえて、いろいろな情報がほしいですね。たとえば給与水準などアンケートをしてまとめたりするとか。中小企業ファーストの情報を嬉しいします(笑)。

それと医療だけじゃなく航空機や水素も含めて、研究会はものづくりを目的としたものと、研究・勉強することを目的としたものと、2つに分けたらどうかと思うですよ。実際にモノを作っている企業ばかりの中に、興味があって勉強したいと思った時に入れないし、急にモノを作るのはハードルが高いですから。いずれにせよ、新しい分野に挑戦するのはむずかしいものですから、部会から発信するなり、多様な情報をもっと提供していただけるとありがたいですね。



本岡鋼材（株）

代表取締役社長 本岡 幸雄



スピード感と柔軟性を持って活性化へ繋げよう！

平成20年度から6年間の副会長、26年度から2年間の会長代行を務めた本岡鋼材㈱・本岡幸雄代表取締役社長。青研会も含めてさまざまな活動をサポートされてこられました。現副会長の山城機工㈱・岡西栄作代表取締役社長がお話をうかがいました。



リーマンショックの影響

岡西●本岡さんが副会長を務めておられた平成20年にリーマンショックが起こりましたが、当時の工業会の状況はいかがでしたか。

本岡●リーマンショックが起った時点まではまだ景気が良かったんです。ミレニアムの平成12年前後に景気が落ち込みましたが、その後は右肩上がりで、ちょっと異常な状況と言ってもいいくらい。こんな状況が長く続くことはないだろう、そのうち反動が起るんじゃないかと思っていた矢先のリーマンショックだったんですよ。影響がどう来るかと身構えていましたが、半年近くは特になかった。スクラップ価格は下がり始めたけれど仕事量としては変化がなかったんです。ところが半年ほど経って「えええ!?」という感じで…。工業会も会員数が減ったのではないかでしょうか。

岡西●そうでしたよね、ワクツションあって、いきなり来ましたね。

本岡●受注予定のものがなくなってしまい雇用調整したり、休日を増やしたり…。皆さん、それぞれ対応に追われましたよね。今辞めるなら周りにもそんなに迷惑をかけなくてすむからと、廃業したところも少なくなかった。今の後継者問題とはまた別の話でね。今のような人手不足感はまだなかったんです。人手不足感はここ2、3年で一気に来ている気がするね。

岡西●会員数は平成20年に304社だったのが、現在は約268社ですね。

そこそこ勢いの名残があったね。

岡西●任期中に特に印象に残つておられる取り組みなどはありますか。

本岡●この年からトップセミナーの前身のような経営セミナーを始めました。9月に50周年記念講演会として作家の玉岡かおるさんを招きましたが、多くの人が集まってくれて、それ以後、大人数を集めたセミナーを開くようになりました。後継者問題がぼちぼち出始めた頃だったので、若い人たちにももっと関心を持つてもらおうと、こういう企画を始めたんです。

岡西●当時会長だった村元四郎さんは、产学連携の一つの流れで、神戸高専との繋がりを築いてこられましたよね。今、僕たちが引き継いで連携していますが、先輩方が築いてこられた関係は大きく、ありがとうございます。工業会からは神戸高専の出前授業を行っています。

本岡●他には、東日本大震災の支援で遊休機械無償マッチング支援プロジェクトを行ったことも強く印象に残っています。商工会議所前で出発式をして、大きなトラックを何台も連ねて東北へと運びました。皆さん、快く機械を提供してくれてね。やはり阪神淡路大震災のときに助けていただいた、そのお返しの気持ちも大きかったね。主催は商工会議所でしたが、工業会メンバーからたくさん機械の提供がありましたよ。現地でとても喜んでいただけたので本当に嬉しかったですね。募金活動は今も続いています。

今後の工業会に期待すること

岡西●先輩から僕たち世代へのアドバイスをいただけますでしょうか。

本岡●岡西さんたちの年代が一番動きやすい時期でしょうね。今までを踏襲しなくてもいいんですよ。今の人たちの考え方でどんどん押し進めてください。ただ組織を固め過ぎるのは良くないと思うんです。青研会出身者だけあまり固まり過ぎず、違う感性を入れて意見をどんどん吸い上げ、柔軟に変化していくことが活性化に繋がるはずです。

岡西●いろいろな意見を吸い上げないと横に広がっていくことですね。これから僕たち世代が次世代に自由にやってもらうためにも、皆さんにもっと積極的に前に出て来てもらいたいです。遠慮している人が多いように感じています(笑)。

本岡●青研会の人は互いにものが言いやすいんでしょうね。新規の人は工業会に入会するメリットは何なのか、必ず考えます。ですから、これから工業会としてどう魅力を発信するかがポイントかと思います。今は変化のスピードが早過ぎる。それに対して知識や若さだけで対応していくのか…。やはり柔軟性と変化に対応するスピード感を持つことが大事です。相手先はサラリーマンで60代になつたら現役を離れていくわけですから、工業会も40代、50代前半までが中心になっていくのもいいのではないかと思います。

特に印象的な取り組み

岡西●平成20年は工業会50周年の記念年でもありました。盛り上がりはありましたか。

本岡●5月にホテルニューオータニ神戸ハーバーランドで記念式典と祝賀会を行って、80社くらいが集まりました。リーマンショックは9月だったから、まだ、



こうなる！今年（平成31年度）の中小企業施策・税制



みなさん、あけましておめでとうございます。年が明けると通常国会が開催され、現行年度（平成30年度）の補正予算や、来年度（平成31年度）当初予算について審議が行われます。予算には中小企業施策や税制も含まれているのですが、今年に実行されそうな施策・税制にはどのようなものがあるでしょうか？審議の結果、変更される可能性はありますが、主要な施策・措置について、今の時点でわかるところをまとめてお伝えしたいと思います。

一経済産業省関連の中小企業施策

（補助金や専門家派遣等）について

・個人事業者の事業承継を円滑化するための措置

個人事業者について、先代経営者から後継者への事業用資産の承継を円滑に進めるための税制関連措置が創設されます。

・事業承継・世代交代集中支援事業

細かい地域単位で、事業承継に関する専門家派遣などの踏み込んだ支援を行う施策が新たに実施されます。事業承継に関しては、助言、マッチング支援等をワンストップで行う「中小企業再生支援・事業引継ぎ支援事業」が、引き続いて実施される見込みです。



・ものづくり・商業・サービス経営力向上支援事業

ご存知「ものづくり補助金」が平成31年度当初予算に計上される見込みです。平成30年度補正予算にも計上される見通しがあり、従来よりもより多くの実施期間で施策が行われる可能性があります。

・地方公共団体による小規模事業者支援推進事業（自治体連携型持続化補助金）

従来行われていた「小規模事業者持続化補助金」のような施策です。もしかしたら小規模事業者持続化補助金の仕組みが変更されるかもしれません。

・地域未来投資促進事業

平成30年度にも行われていた事業が継続する見通しです。中小企業が地域中核企業等と連携して行う活動を、新たな技術・サービスモデルの開発から市場獲得まで一貫的に支援する事業であり、地域未来投資促進法の計画承認を受けた中小企業に対する支援策です。



・国内・海外販路開拓強化支援事業

新商品・サービスの開発・販路開拓事業や、海外販路開拓に向けたブランド確立事業、民間事業者等のノウハウを活用マッチング・海外展示会等を通じた販路開拓等の支援を行う新たな施策です。

一経済産業省関連の税制措置について

・地域経済を牽引する中核企業の先進的な設備投資の促進

現在も地域未来投資促進税制として、都道府県の策定する基本計画に合致している企業で、地域経済に対して高い波及効果があると承認された企業に税制優遇措置が適用されています。これが平成31年度にも延長、強化されるようです。

・中小企業・小規模事業者の事業承継の促進

中小企業のM&A（親族外承継）について、一定の要件を満たす事業承継ファンドから出資を受けた際も中小企業税制の適用を可能とする要件緩和措置が創設されます。また、個人事業者の事業承継について、事業に用いる資産（土地、建物、機械等）の承継を円滑化するための措置も検討されているようです。

・中小企業・小規模事業者の設備投資活性化、研究開発支援、経営基盤の強化

従来から行われている経営力向上計画（一定の条件を満たす設備投資に関する国税の軽減措置）や、先端設備等導入計画（一定の条件を満たす設備投資に関する固定資産税の軽減措置）は継続される見通しです。

また、中小企業の研究開発を支援するため、中小企業技術基盤強化税制を延長するほか、中小企業軽減税率（法人税を所得800万円まで、本則19%から15%に軽減）も延長される見通しです。



最新鋭のレーザー切断機を導入しました。



高品質と省エネを両立 !!

KS 神戸ステンレス株式会社
KOBE STAINLESS STEEL CO.,LTD.

製造工場 神戸ウォータージェットカッティング株式会社
KOBE WATER JET CUTTING CO.,LTD.

本 社 〒653-0022 神戸市長田区東尻池町9丁目1番34号

TEL (078) 681-6971㈹ FAX (078) 681-6177

西神工場 〒651-2271 神戸市西区高塚台3丁目1番地44

TEL (078) 991-2020㈹ FAX (078) 991-2022

URL : <http://www.kobe-stainless.co.jp> Eメール : info@kobe-stainless.co.jp



産業用ガス・システムの総合メーカー
株式会社 千代田精機
www.chiyoda-seiki.co.jp

〒653-0022 神戸市長田区東尻池町7丁目9番21号
TEL(078)681-8844 FAX(078)681-8849 Eメール: info@chiyoda-seiki.co.jp

建設機械部品

株式会社 赤松鉄工所

代表取締役社長 赤松正太郎

〒658-0027 神戸市東灘区青木3丁目6番13号
TEL (078) 411-2771~2 FAX (078) 453-4024

精密金属プレス加工・精密板金加工
プレス・板金製品の企画・設計から量産まで

大島金属工業株式会社

代表取締役 大島孝一郎

〒651-2228 神戸市西区見津が丘2丁目1番8号
TEL (078) 995-4591㈹ FAX (078) 995-4599
E-mail:info@oshima-kk.com
ISO 9001:2008 (JQA QM6890)
ISO14001:2004 (JQA EM6866)



オリエンタル鍍金株式会社

代表取締役 高橋宏忠

本社 神戸市長田区丸山通6丁目1番5号
TEL (078) 671-4745 FAX (078) 651-3153
西神工場 神戸市西区高塚台6丁目1番1号
TEL (078) 991-1231 FAX (078) 991-5050
<http://www.oep.co.jp>

ハイシンモーノポンプ®

<http://www.heishin.jp>

困難を解決する、オンリーワンの高性能。

兵神装備株式会社

代表取締役社長 小野純夫

本社 〒652-0852 神戸市兵庫区御崎本町1-1-54
TEL.078-652-1111 FAX.078-652-4504

精密機械部品・各種小型電車製作 株式会社 前田精密製作所

代表取締役社長 前田正

〒650-0017 神戸市中央区楠町2丁目1-7
TEL (078) 351-2424 FAX (078) 361-1290

気密溶接・精密溶接のバイオニア 株式会社ニッセイ機工

代表取締役 藤本茂

〒658-0044 神戸市東灘区御影塚町3-6-10
TEL 078-851-6680 <http://www.nkw.co.jp/>

原子力発電所向各種部材、トンネル掘削機
立体駐車場設備、建設機械、その他製缶板金
機械加工及び組立・試運転一式

宇津原株式会社

代表取締役社長 宇津原彰一

兵庫県加古郡播磨町東新島10番地
TEL (078) 941-1170㈹ FAX (078) 941-1190

挑戦する
技術者集団



ONAGA 株式会社 オオナガ

代表取締役 大長勝

<http://www.oonaga.jp>



素材～製缶～溶接～機械加工完成までを
充実した設備環境でお応え致します

株式会社 佐野鉄工所

代表取締役 梅原久利

〒651-2144
神戸市西区小山3丁目1-5 TEL:078-923-0666 FAX:078-923-0663
e-mail:h-umehara@sano-iron-works.co.jp <http://www.sano-iron-works.co.jp/>



工業用ゴム製品合成樹脂製品の
多様なニーズに応える

神港化学工業株式会社

代表取締役社長 松下広志

〒651-2271 神戸市西区高塚台3丁目1番48
TEL.078-991-1551 FAX.078-991-1560
<http://www.shinko-chemi.co.jp/>
info@shinko-chemi.co.jp

確かな技術で精密切断の未来を拓く

まや鋼業株式会社

代表取締役社長 尾尻法行

〒651-2241 神戸市西区室谷2丁目12番2
TEL(078) 991-1900㈹ FAX(078) 991-1905㈹
HP <http://www.mayakogyo.co.jp>
Mail f-ojiri@estate.ocn.ne.jp

製缶・鋳金・プレス加工・レーザ加工

株式会社 富士工作所

代表取締役社長 田邊敏樹

〒651-2271 神戸市西区高塚台3丁目1番地57
TEL (078) 991-3853㈹ FAX (078) 991-3032
URL <http://www.fuji-spf.co.jp>

一般鋼材・加工・販売・ガス精密溶接・プラズマNC切断

A エース商会株式会社

代表取締役 畠山貢

本社/工場 〒651-2128 神戸市西区玉津町今津595
TEL (078) 915-2344 FAX (078) 915-2355
E-mail m-hatakeyama@ace-kobe.co.jp

熱間成形理論に立脚した技術による
信頼性の高い製品を供給致します。

岡本鉄工株式会社

代表取締役 岡本圭司

〒652-0823 神戸市兵庫区東出町2丁目2-3
電話 : (078) 681-0271 FAX : (078) 681-7344



手作業に拘る メツキの匠

株式会社 西出鍍金所

代表取締役 進藤哲生

〒652-0822 神戸市兵庫区西出町1丁目4-15
TEL.078-671-4110 FAX.078-671-5775
E-mail nishidemekki@energy.ocn.ne.jp
<http://www.nishide-mekki.com>

磨鋼材販売 SS SC SCM 快削鋼 ステンレス
アルミ 真鍮 一般鋼材 その他

DH 大協磨鋼材株式会社

代表取締役 外川弘幸

〒653-0025 神戸市長田区真野町1番3号
TEL (078) 651-3033 FAX (078) 651-3036
E-mail : kobe@daihaku.co.jp



MITSU GROUP
すりあわせる、トンガレる

ミツ横機
ミツテック

製缶・鉄構・板金・プレス加工

造船・原動機・産業機械関連部品製作

S 杉浦産業株式会社

代表取締役社長 杉浦秀喜

〒652-0813 神戸市兵庫区兵庫町2丁目3番7号

各種真空ポンプ、真空諸装置、各種精密電気炉
半導体関係機器、医療関係機器、特殊光学機器の製造・販売

神港精機株式会社

代表取締役社長 真下 忠

〒651-2271 神戸市西区高塚台3丁目1番35号
TEL.078-991-3011(代) Fax.078-991-2860
<http://www.shinko-seiki.com/>

油圧機器 船用ディーゼルエンジン部品 機械加工及び組立

Ts 株式会社 垂水精工舎

代表取締役社長 池田 信明

〒651-2132 神戸市西区森友2丁目36-1 阪神鉄工団地内
TEL (078) 927-1043㈹ FAX (078) 927-1046
E-mail mail@tarumi-seikousya.info
URL <http://tarumi-seikousya.info/>

大型鋼合金鋳物・アルミ合金鋳物の鋳造及び機械加工
(製鉄機械・産業機械・船舶機器・重電機器用部品)

福辰合金株式会社

代表取締役社長 高塚 清江

神戸市東灘区本庄町3-2-1
電話 (078) 451-2201
<http://www.fukutatsu.com>



長い歴史と最新の技術 品質保証の TAKIGEN マーク

〒650-0047 神戸市中央区港島南町1-4-9
電話 : 078-303-9001 FAX : 078-303-9002
<https://www.takigen.co.jp/>

タキゲンはあなたの工場です 試作品・特注品をスグ創ります
—協力開発のタキゲン—

チャレンジなきところにチャンスなし、
防錆技術を通じ、笑顔で社会に貢献

日本ライニング工業株式会社

代表取締役 中川 裕子

〒651-2271 神戸市西区高塚台3丁目1番10号
電話 078-991-0957 FAX 078-991-0950
<http://www.nippon-lining.co.jp/>

原子力プラント及産業用ポンプ
部品及精密機械加工

ISO9001認証取得

新成工業株式会社

代表取締役 木村 康幸

〒652-0852 神戸市兵庫区御崎本町3丁目3-7
TEL (078) 681-3301㈹ FAX (078) 681-1793
E-mail: yasuyuki-k@sinsei-kougyou.co.jp

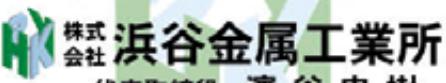
スラグの加工・販売、各種鋼材・
非鉄金属・ペアリングの販売、エンジニアリング、
プラント設計・施工、各種解体工事



代表取締役社長 金澤 康雄

〒657-0846 神戸市灘区岩屋北町4丁目4番1号
TEL (078) 871-2800 FAX (078) 871-3755

○Tシャツ・トローナー・タオル・金属プレート・タイルなど様々なものへ
写真やイラストのフルカラー熱転写プリント。
○アクリル・木・石・ガラス・コルクなどへのレーザー彫刻&カット。
○オリジナル製品・販売促進グッズ・看板・模様物製作。



株式会社 浜谷金属工業所
代表取締役 濱谷 忠樹

〒650-0047 神戸市中央区港島南町7丁目2番5
TEL (078) 303-2958 FAX (078) 303-2957
<http://www.hamatanakinzoku.co.jp>
E-mail : info@hamatanakinzoku.co.jp



JIS Q 9100 航空・宇宙・防衛
品質マネジメントシステム認証取得
範囲: 5軸高速マシニングセンター・ワイヤー盤加工

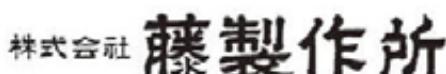


代表取締役社長 岡西 栄作

〒653-0045 神戸市長田区駒ケ林南町1番79号
TEL (078) 739-7030 FAX (078) 739-7031
E-mail: sales@yamashiro.jp <http://yamashiro.jp>

Speed Challenge Network

私たちは、ものを加熱する技術で、社会に貢献し未来を創造し続ける会社です

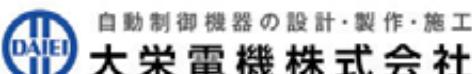


代表取締役 藤澤 信幸

〒675-1105 兵庫県加古郡稻美町加古1901
TEL (079) 492-1421 FAX (079) 492-1422
URL <http://www.fujisss.co.jp>
E-mail info@fujisss.co.jp



・中大物異型鋳物機械加工
(FCD,BC,AC4C,SCS...)
・ロボット、建機、総電器、航空機部品など
実績あります。
<http://www.jtec.ne.jp/>



自動制御機器の設計・製作・施工

代表取締役 阿知波 規之



〒651-2271 神戸市西区高塚台3-2-53
TEL 078-991-3621 FAX 078-991-3620
<http://www.daiei-dek.co.jp/>

粉粒体関連総合プラントメーカー
設計・製作・施工・メンテナンス



東亞機械工業株式会社

代表取締役社長 砂泊 昌浩

〒651-2271

神戸市西区高塚台3丁目1番21号

(西神機械金属団地協同組合内)

電話 : 078-991-1717 FAX : 078-991-1720

<http://www.toakikai.co.jp/>

【各種精密打抜金網製造・販売】
棒枠・造粒・遠心分離機用・その他
打抜金網の事なら実績と信頼の布引スクリーンを!!

① 株式会社 布引製作所

代表取締役 安藤 隆

神戸市東灘区魚崎南町2-16-24

TEL (078) 431-1105㈹

東京営業所・二見工場

ステンレス・チタン他
レーザー切断及び加工一式



波賀ステンレス株式会社

代表取締役 清水 顯一郎

〒653-0045 神戸市長田区駒ケ林南町1番78号

TEL (078) 739-7338 FAX (078) 739-7388

E-mail shimizu@hagagus.co.jp

<http://www.hagagus.co.jp/>

～21世紀をリードする～

物流 梱包 倉庫 事業
情報システムプランニング事業



株式会社 リヨーサン

代表取締役 桂田 重信

(本社) 〒658-0025 兵庫県神戸市東灘区魚崎南町1丁目1番10号

(支店) 〒675-0155 兵庫県加古郡播磨町新島3番地

TEL (079) 430-0011 FAX (079) 430-0030

<http://www.ryosans.co.jp>

特殊鋼・ステンレス鋼
機械加工・端断加工
(認証範囲)
航空・宇宙及び防衛向け
装備部品の材料販売及び加工



JIS Q 9100 (認証書に依る)



株式会社 阪神メタリックス

取締役社長 河合 敏彦

本社 神戸市長田区御蔵通7丁目29

TEL (078) 575-1249

支店 調材センター・東神戸・明石・京都・高松 機械工場 調材センター

\ 鋳物製作なら /

短納期対応から多品種小ロットでの量産対応まで



カルモ鋳工株式会社

代表取締役 高橋 直哉

〒651-2271 神戸市西区高塚台3丁目1-45

TEL 078-991-1414 <http://karumo.com/>

「高延性材料試験機のご紹介」

材料・分析技術部化学材料グループ 柴原 正文

TEL:078-731-4033 MAIL:radish@hyogo-kg.jp (総合相談窓口・ハローテクノ)

① はじめに

材料試験機は、新素材・新加工法を開発する上で必須となる材料の機械的特性や製品の強度評価を行う強度試験に使用します。本装置は、ゴム、プラスチック、フィルム、紙などの低荷重でありながら高延性を示す高分子材料に係わる機械的特性（引張強さ、圧縮強さ、曲げ強さ、弾性係数など）や、高分子材料を原料とする機械部品・製品の強度を評価するための特別な仕様を有しています。

② 本装置の構成

本装置の構成図を図1に示します。基本的な構成は、① つかみ具（以下、グリップ）などのアクセサリーを取り付けて試験を実施する本体部、② 手元で本体部を操作する分離型コントローラ、③ 本体部を制御する制御装置と制御条件の選定やデータ処理を行うアプリケーションソフトをインストールした制御用コンピュータからなります。これらに加え、伸び計、各種試験用のジグ、試験結果を出力するプリンターなどを付属しています。

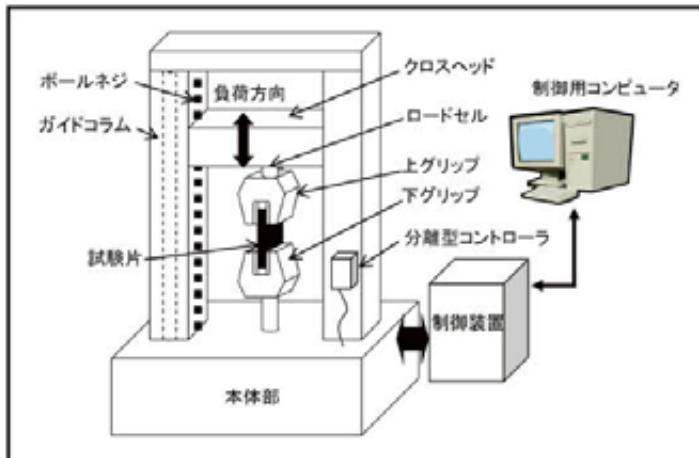


図1 高延性材料試験の構成

③ 強度試験の概要

最初に、試験片の上下両端を、本体部ベースに固定された下グリップと荷重検出用の電気式ロードセルを介してクロスヘッドに固定された上グリップでつかんで、本装置に試験片を設置します。その後、ACサーボモータによるボルネジの回転でクロスヘッドと上グリップを上下に移動させて、試験片に荷重を加えます。クロスヘッドの移動方向や速度を制御することで、種々の強度試験を行うことができます。また、試験片の近傍に取り付けた伸び計の信号から試験片の引張り伸び量を測定することもできます。各種試験の荷重、伸び量のデータはコンピュータに取り込まれ、試験結果はレポートとしてプリンターなどで出力されます。

④ 本装置の特徴

本装置は、高延性高分子材料の強度試験を行うためには、以下の特別な仕様を有しています。

- ① 高延性高分子材料は、金属材料など他の材料に比べて、極めて大きい引張り伸び量が測定されます。本装置では、大きな引張り伸び量の高分子材料にも対応できるように、クロスヘッドの総移動量を1,600 mmに延長しています。
- ② 高分子材料は、低強度のフィルムから高強度の繊維強化プラスチックまで多種多様あります。これらの強度試験に対応できるように、本装置には荷重最大容量50 N、1 kN、10 kNならびに20 kNの電気式ロードセル（引張用／圧縮用）を付属しています。
- ③ 高分子材料の機械的特性は、ガラス転移点を境にして大きく変化します。本装置には試験環境の雰囲気温度を制御する恒温槽を付属しています。恒温槽内部の温度を-40~250 ℃の範囲で適時変更することができます。また、荷重最大容量50 Nならびに1k Nのロードセルと上下グリップを組合せて恒温槽内で装着することができます。なお、恒温槽を使用しない場合は、試験機本体から退避することができます。
- ④ 引張り伸び量の大きな高分子材料に対して、伸び量を高精度に測定するために、接触式の自動追尾式伸び測定装置を付属しています。ただし、恒温槽内において当該装置は使用できないため、槽窓越しにビデオ撮影を行いビデオ映像から伸び量を高精度に測定する非接触式の自動追尾式伸び測定装置も付属しています。

⑤ おわりに

今回、ご紹介した高延性材料試験機の利用料金は、恒温槽併用の有無で異なります（恒温槽を併用する場合、1時間につき3,200円。恒温槽を併用しない場合、1時間につき2,100円）。なお、初回のご利用時には、機器利用研修費として別途4,000円が必要となります。ご不明な点がありましたら、お気軽にご相談下さい。



装置正面(中央奥、恒温槽)

装置側面(左手側、恒温槽)

図2 高延性材料試験の外観写真



工作機械 プレス鋳造機械 ロボット省人化システム 各種加工システム

宮脇機械プラント株式会社

本社・展示場

〒673-0021 明石市北王子町2番26号

TEL. (078)927-1181(代)

FAX. (078)928-1394



ISO 9001 認証取得

<http://www.mkp-fa.co.jp/> E-mail:info@mkp-fa.co.jp

日本と中国のモノづくりの架け橋に



◆丸物



◆角物



◆材料から取り出す試作品

- ➡ 部品1個から多品種・小ロット、量産まで素早く対応
- ➡ 精密機械加工、試作品、金型全般の設計と製造
- ➡ 高品質、低価格の製品をワンストップ・サービスにてご提供
- ➡ 見積最短当日提出、納期最短1週間

三栄産商株式会社

〒650-0004

兵庫県神戸市中央区中山手通4-10-8 ラッセホール3F

Email:sanei2017@yahoo.co.jp

TEL:078-200-5562

URL:www.sanei-sansyou.co.jp

FAX:078-200-5571

総合金網・パンチングメタルメーカー

株式会社 奥谷金網製作所

日本と世界をつなぐ **OKUTANI** ネットワーク



神戸本社／ショールーム

TEL : 078-351-2531 FAX : 078-361-1484

姫路営業所・東京営業所

明石工場・堺工場

シカゴ事務所

デュッセルドルフ事務所

OKS 1895



▶神戸空港は、神戸三宮から ポートライナーで18分 バスで22分 KOBE

都心に近くアクセス便利な「神戸空港」

●神戸空港アクセス



神戸空港

発行:

神戸空港利用推進協議会

神戸空港

検索

チャレンジ・スピリット

明治40年、国内初の缶詰用パッキンを開発。

フッ素樹脂製品、シール製品を中心としたフィールドへの挑戦により、積極的な技術開発に取り組んでいます。



ISO 9001 認証取得

本社・神戸工場・九戸工場



OR-PACKING

パンチングの専門メーカー

株式会社 大野社

705-1101 神戸市北区山田町小林第1次第6地山5-3

TEL (078) 501-1201 FAX (078) 501-1227

E-mail:info@ohnosha.co.jp

<http://www.ohnosha.co.jp>

東京・大阪・神戸・佐世保

特殊鋼極厚鋼板ガス溶断 薄・中・厚板レーザー切断及曲板加工
鋼材全般寸法切 各種機械加工及製缶加工取扱

私たちは、時代を捉える「力」を磨き続けていきます。



株式会社 畠山鋼材

〒653-0033 神戸市長田区苅藻島町1丁目1-21

TEL 078-651-7711/FAX 078-651-7713

URL <http://www.hk-steel.co.jp>

Mail kouzai-7711@space.ocn.ne.jp

新入会員紹介

高井電機株式会社

当社は、純度が高く、耐熱性、光の透過率に優れ、さらに薬品に対しても反応が少ないという特性をもつ石英ガラスを素材として独自の加工技術、製造設備、モノづくりのプロセスを突き詰めた製品づくりに取り組んでおります。その用途は、照明用のみならず、産業用・半導体、理化学用・分析、医療用まで多岐に渡り企業様に多くのソリューションを提供し、各分野から高い評価をいただいております。クオーツテクノによる未来の創造にお役に立てる会社を目指し、切磋琢磨してまいります。

代表取締役 柏木 寿仁
〒675-2456
加西市若井町2713
TEL.0790-44-1143
FAX.0790-44-1259
<http://takaidenki.co.jp>
e-mail:takashiwagi@takaidenki.co.jp



株式会社岡本精工

当社は、小さな会社でも「削る」ことに誇りを持ち、日々「全力削削」に努めています。様々な素材に対応した加工技術、時代に沿った製造設備、より良い製品づくりのための人材育成など、常に挑戦し、向上し続ける心を持ち取り組んでおります。今まさに大きくなっている会社として、今日も変わらず、心を込めて、どこかで誰かの役に立っているかもしれない部品を作り続けてまいります。

代表取締役 岡本 元伸
〒651-2411
神戸市西区上新地3丁目6-11
TEL.078-967-3851
FAX.078-967-3835
<http://okms.co.jp/>
e-mail:info@okms.co.jp



日本シリコロイ工業株式会社

高ケイ素ステンレス鋼「シリコロイ」は、高強度(1200N/mm²ステンレスの4倍)・高硬度・高耐食・耐熱性・超低温素材として有効です。道路公団・製鋼所などで多く使用されています。超薄肉鍛造も高強度で環境用素材として寄与しています。今回は3Dプリンターメタル粉末(ステンレスの6倍強度)も実現しており産業部品に期待しております。

代表取締役 清水 幸義
〒678-1244
赤穂郡上郡町梨ヶ原1171-105
TEL.0791-56-0715
FAX.0791-56-0716
<http://www.silicollay.co.jp/jst/>
e-mail:shimizu-takatasu@carrot.ocn.ne.jp



第2走者

コラムdeリレー

淡路鉄工株式会社 常務取締役 内原 新人

ここ数年は美術館めぐりが趣味になってきて時間の空いた時に観て回っています。先日、建物が世界文化遺産に登録されたことで話題になった東京の国立西洋美術館を防災常設展の入り口に掲げてあるこの美術館の成り立ちを読んでみると、川崎造船所初代社長の松方幸次郎氏の所蔵品の一部を戦後になってフランスから返却されたときに保管収蔵するために設立されたとのことで名前だけしか知らなかった松方コレクションの歴史と評価を知り驚きました。

作品だけでなく展覧会のポスターにも記憶に残るものがありました。

印象的だったのが昨年、兵庫県立美術館で開催されたアドルフ・ヴェルブリ展です。

アール・ビュートとい聞けなれないジャンルに分類される作家ですが、全く情報のないところから電車の中吊りの展覧会のポスターでぐっと興味をそそられ、グラフィックデザインの力を感心することができました。

黄色をベースとした配色の作品中央に眼光鋭い作家の写真、螺旋状に配置された文字、名前を聞いたこともないけれど観に行ってみたい気持ちが湧いてきました。

展覧会に行き作品を見てみると作家のもつエネルギーを感じた不思議と心に残る展覧会でした。

ポスターといえば1960~70年代のアングラ劇団のポスターを100枚集めたジャパン・アヴァンギャルド展が印象に残っています。

兵庫県出身の横尾忠則さんのシルクスクリーン作品をはじめ、力強い表現にあふれた作品が展示されていました。2016年

になって展覧会を主催した横田裕之氏のトークイベントに参加し、A3サイズのとても大きい図録を再び観返しています。演劇のポスターは近年俳優の写真を入れることが必須となったために昔のような実験的な表現がしきくなっているとのことでした。印刷技術の向上によって商業ポスターの味わいが薄れしていくのは残念ですが現代美術はその時代に合った、素材・技法も含めて時代を表現しているのかなと思ったりします。

この展覧会は10年以上前に観に行ったのですがその後も各地で再演されているよう目にする機会があればもう一度観に行きたいと思っています。



第3走者 株式会社ユニテック
代表取締役社長 横本 直輝 へつなぎます！

第十回 ■能のすすめ■

道成寺を披く

新年あけましておめでとうございます。

また創立60周年を迎えたお喜びを申し上げます。

能楽師にとって節目となる大曲を初めて演じる事を「披き(ひらき)」と言います。

今回は私が以前道成寺を披かせていただいた時のことを少し書かせていただきます。

阪神・淡路大震災で家が全壊し、舞台事情も先行き不明で不安な毎日を送っていた時、突然難病を発症し、以後入退院を繰り返すこととなってしまいました。一ヶ月前後の絶食に点滴、投薬を繰り返し、筋肉も衰え精神的にも大きなダメージを受けました。そんな状況が少し改善された時に道成寺のお披きの話を持ち上がりました。道成寺は能楽師にとって避けては通れない大切な曲ですので、体力的にも精神的にも金銭的にも非常に不安を感じながらも「披き」を決断しました。

道成寺を演じるためには特別な伝授を受けなければならず、技術的に、精神的にも高い水準が求められる大曲です。見せ場の一つに「乱拍子(らんびょうし)」という場面があり、シテ(主役)と小鼓のみで演じます。二人の息づかいのみで間を合わせ緊迫した場面を創り上げ、それが通常15分以上も続くのですが、舞台当日の客席からも伝わってきた緊張感は今でも忘れる事はありません。そして最大の山場と言える鐘入りという場面があります。落ちてくる鐘にシテが飛び込む大変危険な場面です。鐘入りが無事に終わった時のお客様の拍手も忘れられません。(通常能は途中の拍手は有りません。)

道成寺は私が演じてきた中でも最も記憶に残る曲となりました。

皆様方も機会が有りましたら是非とも生の道成寺を観ていただきたいと思います。

観世流能楽師 笠田 昭雄

笠田先生の「能のすすめ」は今回でおわります。5年に亘り能の楽しみ方、厳しさ、歴史、そして能楽師としての喜びを教えて頂きました。本当に長い間ありがとうございました。

これからのご活躍も楽しみにしています。



調べているのは、
安心です。

油圧・空圧シリンダー設計製作販売
〒651-2321 神戸市西区神出町宝勢865-1

逢坂工業  株式会社

電話 (078) 965-1386
FAX (078) 965-0101



経営者のみなさまへ
福利厚生の充実にお役に立ちます

「ハッピーパック」は 安心・安価でお得！

- Point ① 神戸市が創設した福利厚生制度で安心です。
- Point ② 月々500円/人の掛金で、幅広く福利厚生をお手伝いします。
- Point ③ 掛金は損金または必要経費扱いになります。
- Point ④ 年に一度、わくわくセレクション御招待券を全員にプレゼント。
(選択: コンサート、レジャー施設、映画鑑賞、野球・Jリーグ観戦、
ホテルでのランチ、市内観光施設等のコースから選択。)
- Point ⑤ 会員になったその日からご利用いただけます。

ご加入いただけるのは、「神戸市内に事業所がある法人」や
「一般従事員が1人以上の個人事業者」等です。
ご加入費用について詳細はハッピーパックにお問い合わせください。

お問い合わせ・資料のご請求は「ハッピーパック」
TEL: 神戸いきいき労働財團 231-8189 〒651-0096 神戸市中央区雲井通5-3-1 サンパル10階



電子プログラム制御機器



油圧制御機器(QDCS・QMCS)



空気制御機器



各種制御機器製造メーカー

昭和精機株式会社
<http://www.showa-seiki.co.jp>



KMT 株式会社神戸工業試験場

〒675-0155 兵庫県加古郡播磨町新島47-13
TEL: 079-435-5010 FAX: 079-435-5335
Web: <http://www.kmtl.co.jp> mail: info@kmtl.co.jp



新时代への

創告



工作機械・機械工具・メカトロ機器専門商社
株式会社 ヤマイチ

〒653-0022 神戸市長田区東尻池町7-9-17

TEL 078-651-8551(代) FAX 078-651-8556

営業所: 加古川・西神・三田・姫路・神戸北・南大阪・岐阜・名古屋・滋賀

YAMAICHI

中古機械 / 買うなら U-MACHINE 売るのも U-MACHINE

工作機械

マシニングセンター
旋盤
放電加工機

成形機

射出成形機
ダイキャストマシン
押出機

鍛圧機械

油圧プレス
機械プレス
板金機械

その他機械の買取・撤去工事等もお気軽にお問い合わせ下さい！

株式会社 U-MACHINE 大阪支店
TEL: 06-7711-8720 FAX: 06-7654-1532

◆事業報告(7月~12月)

7月度例会 神戸市産業振興センター

7月27日(金)

【講師】税理士法人はやぶさ 横岡 格次様

【内容】「どう受ける? 経営のバトン~ Part 2」

7月度例会では、6月に続き、税理士法人はやぶさの横岡 格次様に事業継承における税制についてお話しいただきました。

事業継承には、一般的な相続税、贈与税の知識に加え、定期的に自社株の評価を行っていくことや、贈与贈与・事業継承税制などの税金対策の知識も必要。専門家も交えて自社株や業績の推移を検討しつつ、先代経営者としっかりとコミュニケーションをとりながら、計画的に進めていくべきとのお話でした。

先月に続き、このたびのご講演でも、我々がいずれ直面する事業継承について目的意識を持つ良い機会となりました。

納涼会 たじま屋

8月24日(金)

ライダーカップ 六甲閣ゴルフ俱楽部

9月1日(土)



9月度例会 神戸市産業振興センター

9月28日(金)

【講師】言の葉OFFICEかのん 代表 川瀬 晓美 様

【内容】「相手の心を動かす!伝わる声と話し方~信頼を得る伝え方の極意~」

9月度例会では、2年前にも2回に渡りご講演いただいた川瀬 晓美様に今回はさらに詳しく、実践的なお話をいただきました。

自分が伝えたいことを相手にきちんと伝えるためには、伝えたい内容はもちろん、目的や自身の役割(立場)、伝える対象やその状況などを事前に確認し、まず戦略を練ること。そして、わかりやすく的確な言葉を明瞭な声で伝えることが大切とのことでした。自分の声を効果的に使う方法も教わりました。

そして、講演の最後には全員でストレッチや腹式呼吸、発声練習をしたあと、会議など限られた時間の中でコンパクトに話すときに有効なPREP法を使って、30秒のプレゼンテーションに挑戦しました。

NSKペアリング、NOKオイルシール、三ツ星ベルト
ヨコハマゴム、高圧ホース、アッセンブリ認定工場
各種板金、機械加工、工作機械周辺機器製作販売

神戸工販株式会社

代表取締役 西川誠

〒655-0894 神戸市垂水区川原3丁目2番8号
TEL:078-752-5754 FAX:078-752-5715
URL <http://www.kobekohan.co.jp/>INNOVATIVE FASTENING SYSTEMS
株式会社ユニテン

代表取締役 社長 鶴目昌宏

代表取締役副社長 橋本直

〒675-0019 加古川市野口町水足827番地の20
TEL(079)425-1120 FAX(079)425-0680
【営業所】尼崎・神戸・加古川・坂出・長崎

中小企業のための施設 さんしんセンター 検索

貸会議室・ホール
WEBで簡単ネット予約中小企業の方は一般料金の
半額・半額以下でご利用できます!

神戸市産業振興センター (JR神戸駅より徒歩5分)

☎ 078-360-3200 9:00~17:00 月~金(祝日除く)

<https://www.kobe-ipc.or.jp/facility/>

第54回 大都市青年経営者交流研究大会 名古屋大会

東急ホテル

10月19日(金)~20日(土)

【基調講演】デンソー純元専務取締役、有限公司 MTEC 代表取締役 加藤 光治 様

第54回 大都市青年経営者交流研究大会 名古屋大会



11月度例会 神戸市産業振興センター

11月16日(金)

【講師】社会保険労務士法人庄司事務所 庄司茂 様

【内容】「社内の問題社員の解決」

11月度例会では、特定社会保険労務士の庄司 茂様を講師にお招きし、労務管理上の問題や事例について、また「問題社員対策」としての講義をして頂きました。ここ10年連続、労働相談が100万件を越えていて、これは50人に1人が相談経験があるという事になります。これに対し大切なのは「就業規則」であり、しっかりと会社の規則・基準を定める事が社員との接点を減らし、良い労働条件の会社になることに繋がるという事でした。特に最近ではSNSの件や、残業の内容を記す事も社員との信頼関係に繋がるという事などを勉強しました。

また、例会後の懇親会にも庄司先生にご参加頂き、会員の会社で実際あった事例の話を聞いて頂き、対応方法などを聞かせて頂きました。

忘年会 緯新號 黒心亭



◆事業計画(1月~4月)

- | | |
|-----------------|----------|
| 1月25日(金) | 例会 |
| 2月23日(土)~24日(日) | 移動例会(福岡) |
| 3月22日(金) | 例会 |
| 4月19日(金) | 定時総会 |

高津・猪名
(一社)神戸市青年会議所連合会平成31年1月9日発行(年2回発行) 神戸市中央区東山陽町1丁目8番4
TEL:078-360-3260 FAX:078-360-1457 <http://www.kobekohc.or.jp/>デザイン・印刷
(株)エムリンク